

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.860
2019.12.22

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/神田よしゆき
とりうみ敏行
松村 としお
久保 みきとば めぐみ
金子 あきよ
たけこし 連

文教

学校内のハラスメントは許さない

久保みき市議は、学校におけるハラスメント防止等について質問しました。

神戸市の小学校で、男性教員に対する先輩教員からの陰湿ないじめ事件が起きました。久保市議は、さいたま市においては教員間のいじめは絶対に許さないという立場でこの問題を取りあげました。

質疑により、本市の学校内の職員間におけるハラスメントなどの相談件数は2018

年度で18件あったことが明らかになりました。内容は、人間関係のもつれや職場環境を悪化させる言動などです。また、精神性疾患を理由とした休職者は42人、うち退職者は9人もいたことが分かり、看過できません。本市でも、給食が外部委託になる以前に調理員の間でパワハラ、いじめ事件が起き、告発されたことがありました。久保市議は「給食調理員を含め、教



職員がハラスメントのない環境で安心して働けること、そして問題が起こったら早急に相談・解決できる環境を整えるべき」と求めました。

その他、夜間中学についてとりあげ、さいたま市立夜間中学の設立を強く求めました。

議案外質問

12月9日、12月議会の常任委員会で議案外質問がおこなわれました。

総合政策

避難所の環境改善は待ったなし

たけこし連市議は避難所の環境改善のために、防災備蓄の拡充を求めて質問しました。

たけこし 避難所の環境改善は、市民の避難回避をなくしていくために大切だ。防災備蓄として、(テント型の)ファミリーパーティションの導入についてどう考えるか。

市 防災倉庫の備蓄スペースに限りがあり、国からのプッシュ(緊急輸送)型支援や民間事業者からの調達で対応したい。

たけこし プッシュ型では短期間の避難に対応ができない。防災倉庫や拠点倉庫

そのものの拡大を求める。

市 整備に費用がかかるため、慎重に検討する。

たけこし 市の非常用物資リストを見ると、簡易ベッドが不足している。短期・長期にかかわらず、避難所で休む際に必要な備品。市は、エアーマット3万5900枚を拠点備蓄倉庫に備蓄するというが、短期の避難に対応できない。コンパクトに収納できるので、防災倉庫に備蓄すべきでは。

市 拠点備蓄倉庫のほか、各避難所の防災倉庫への備蓄についても検討している。



市民生活

婦人相談員の処遇改善は急務

金子あきよ市議は、男女共同参画相談室の相談事業について質問しました。

金子 相談室の相談件数の推移、おもな相談内容は。

市 女性の悩み電話相談の相談件数は2018年度7142件、内訳は夫や子ども、親族など人間関係に関す

る内容が6050件、経済、医療、住居に関する内容が1092件。男女共同参画センターが5990件、浦和区役所内704件、中央区役所内204件、岩槻区役所内244件の相談を受けている。

金子 相談員の勤務体制、処

遇はどうなっているのか。来年度からは会計年度任用職員に移行することだが、長く安定して働き続けられる雇用条件が求められるのでは。

市 現在は非常勤特別職の婦人相談員が13名、週4日のローテーション勤務で、月額14万8000円。来年度以降は、身につけたスキルを長く生かしていただけるような任用について検討していきたい。



金子市議は「専門性、経験の蓄積の必要な仕事であることから常勤職員化が必要だ」と述べ、婦人相談員の処遇改善を求めました。

議案外質問 (12月9日)

保健
福祉公設の放課後児童ク
ラブを増やせ

とりうみ敏行市議は、学童保育（放課後児童クラブ）についてとりあげました。

とりうみ 民設の学童保育が抱えている諸問題を早急に解決するうえで、市が責任を果たすべきだが認識は。

市 放課後児童クラブの整備

と学童保育への運営支援は行政の役割であると認識している。

とりうみ 本市の公設率は40%強と低い。待機児童を解消するにはどれくらいの施設が必要か。

市 毎年度15～25カ所の民設学童保育の新規整備が必要。

とりうみ 民設に頼り切っている現状では待機児童は解消できない。公設を整備す

べき。

とりうみ市議はまた、民設の分離・移転問題について、施設探しの苦労や家賃との兼ねあいなど、保護者が必死で

とりくんでいる現状を伝えるとともに、分離移転にかかる費用は工事費、家賃、契約料など総額で250～400万円におよぶのに、市の補助は120

万円しか出ないことを指摘し「差額は保護者負担であり、市の責任からいっても妥当性を欠いている」として、補助額の増額を求めました。

保健
福祉

車椅子を借りやすく



とばめぐみ市議は車椅子の一時貸し出しについてとりあげました。

とば市議は、東京23区をはじめ所沢市や川口市でおこなわれている「車椅子ステーション」を紹介し、公共施設や商店、団体、個人宅に貸出車椅子を置いてポスターやのぼりで存在を知らせ、困ったら車椅子が借りられるしくみを提示して、本市でも実現するように求めました。市は「社

協とも連携しながら、市民にとって使いやすい制度となるよう努めたい」と答弁しました。

また、保育所における災害時の休園判断についてもとりあげ、この間の災害で保育士が暴風雨のなか出勤したり、預かった子どもを連れて避難所に向かうような事態が全国で起こったことを紹介。「学校には『災害時一斉臨時休業の基準』があるが、保育所に

はない」として「保育所には、自力で避難できない未就学児がおり、また送迎する保護者や出勤する職員の命と安全を守る責任がある。休園基準が必要ではないか」と質しました。市は「関係団体とも協議し、必要性を検討したい」と答弁しました。

まち
づくり新見沼大橋
災害時無料へ協議

10月の台風19号により、国道463号線が冠水し、一日以上通行止めになりました。その結果、国道463号バイパスに車両が集中し、新見沼大橋有料道路料金所が大渋滞しました。

松村市議は、「本来は早期無料化が立場だが」としたうえで、災害時に通行不能になった場合の代替措置として被災による住民生活の混乱を少しでも緩和する観点から、「有

料道路をせめて一時的に無料化するように県に働きかけを」と求めました。

市は「国道463号線はさいたま市が管理する道路。今回の経緯をふまえて、他都市の事例も整理したうえで、埼玉県、具体的には道路公社と協議を進めたい」と答弁。具体的な手続きについての松村市議の質問に、市は「一時的無料化する判断基準や減収の補償の考え方などを研究しなが

ら協議を進めたい」と課題をあげました。

松村市議はほかに、見沼田んぼの治水対策として加田屋川の整備を促進することや、解体がはじまる教育センター跡地について住民に周知することなどを求めました。

あなたの身近な議員です



市議(北区)



市議(浦和区)



市議(緑区)



市議(桜区)



市議(見沼区)



市議(南区)



市議(中央区)

神田よしゆき とりうみ敏行 松村としお 久保 みき とばめぐみ 金子あきよ たけこし連